

飲食店用

「みんなにやさしい店づくりガイドライン」

～新しい生活様式に応じた感染予防対策をするために～

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が公表している「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（令和2年5月4日）」を参考に、新しい生活様式における感染防止の取り組みポイントをまとめたものです。

飲食店を経営する皆さまも、ご利用される皆さまも感染症予防に努めながら心地よく過ごせるよう、ご協力をお願いいたします。

1 従業員の感染予防策の徹底

日頃から従業員の感染予防策を徹底し、従業員に体調の変化があった場合には、すぐに気付ける体制づくりを心掛けてください。

・従業員一人一人の健康状態の確認

毎日の体温測定の実施、頭痛や咳などないか体調の確認

・従業員が体調不良時は休暇取得など職場環境の整備

発熱のあった場合やその他体調不良時の対応（自宅待機など）

連絡体制の整備

・従業員の感染予防策の徹底

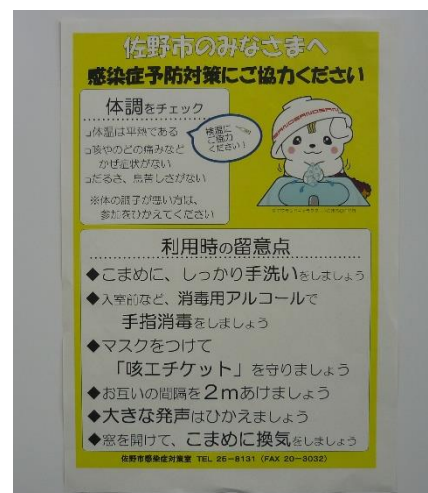
マスクの着用、出勤時や食器・飲食物取扱い時の手洗いや手指消毒などの徹底



2 お客さまへの感染予防対策の啓発

感染予防の工夫や啓発にご協力ください。

- ・マスクの着用や手洗い・手指消毒を促すため、店内に啓発ポスターを掲示するなど
- ・発熱のある方、軽度であってもせきやのどの痛みなど風邪の症状がある方は店舗への入場を控えていただくよう、入口に注意事項の掲示など



3 店舗内の感染防止の取組み例

新型コロナウイルスの主な感染経路は、接触感染と飛沫感染と言われています。そのため、人との間隔はできるだけ2メートル（最低1メートル）空けていただく、もしくは間仕切りの設置などにより直接的な接触を減らすなど、以下の取組み例を参考に、各店舗の状況に応じた積極的な対策を実施してください。

(1) 消毒の徹底

高い頻度で接触がおこる箇所（テーブルやいすの背もたれ、ドアノブ、手すり、電気のスイッチ、電話、キーボード、タブレット、タッチパネル、レジ、蛇口、エレベーターのボタン、リモコンのボタン、マイクなど）は特に消毒を徹底する。

- ・ あらかじめ1時間に1回など消毒時間を決め、
定期的な消毒を心掛ける。
- ・ 客の入れ替えのタイミングで消毒を行う。



(2) 換気の徹底

- ・換気は気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分間程度）行う。
- ・空気の流れを作るため、複数の窓がある場合は対角線上の二方向の窓を開放する。給気する側は小さく開け（10～15cm程度）、排気する側は全開にする。窓が1つしかない場合は、ドアを開けることや扇風機を利用することで風の流れを作る。

窓がない場合は、客室用の換気扇を設置するなどして換気を徹底する。

- ・ビル等で機械換気による場合は、設備の適切な運転や消毒を行う。



(3) 消毒液の設置

- ・店舗の出入口に消毒液を設置し、入店時の消毒を呼びかける



(4) カウンター

- ・対面で接客する場所には従業員と客の間に透明ビニールカーテンやアクリル板等の間仕切りを設置する。
- ・席数を減らす。難しい場合は客と客の間にアクリル板等の間仕切りを設置する。

(5) テーブル

- ・席数を減らす。難しい場合はテーブルとテーブルの間に、衝立やアクリル板等の間仕切りなどを設置する。
- ・できるだけ対面にならないよう椅子を配置する。難しい場合は衝立や

アクリル板等の間仕切りなどを設置する。

(6) 個室・座敷

- ・ 換気のできない密閉した個室や区分できない座敷の大人数での使用は行わない。

(7) メニューや箸などの共有物品の撤去

- ・ メニューや箸、取り皿、調味料、つまようじなどはテーブルやカウンターから撤去し、来客の都度、必要な数のみを提供する。

(8) 料理の提供

- ・ ビュッフェ形式や大皿での料理の提供は行わず小分けにして提供する。

(9) トイレ

- ・ 不特定多数が接触する箇所（ドアノブ、便座、レバー、電気のスイッチ、蛇口など）は念入りに拭き取り消毒を行う。
- ・ ハンドドライヤーの使用は止め、ペーパータオルを設置する。

(10) 会計

- ・ レジなど対面で接客する場所には従業員と客の間に透明ビニールカーテンやアクリル板等の間仕切りを設置する。
- ・ お金の受け渡しは直接行わず、トレー等を使用して行う。

(11) 待合スペース

- ・ 待合スペースの間隔を広くする措置
- ・ 備え付けた雑誌や書籍の撤去や利用の自粛

例えば：
ソファを1人掛けに



- ・ 頻繁に接触する箇所（テーブル、椅子）の消毒
- ・ 定期的な消毒のほか、客の入れ替えのタイミングで消毒を行う。

(12) ゴミの廃棄

- ・ 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れ密閉して廃棄する。
- ・ ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。

(13) 入店人数の調整・制限

- ・ 通常時よりも一日当たりの来店客数を抑制する。
- ・ 予約制の導入やピーク時間以外の時間帯の割引を実施する。
- ・ ピーク時間を掲示し、お知らせする。

(14) 滞在時間の短縮

- ・ 時間制限を設けるなど、客の滞在時間を短くする取り組みを行う。